

あおもり 国際交流つうしん

国際交流情報誌

7

2019
No.133

令和元年5月1日「外国人からの問合せ窓口」オープン!!

令和元年5月1日、外国人の方からのさまざまな問い合わせに対応する「外国人からの問合せ窓口」を開設しました。受付は、青森県観光物産館アスパム2階あおもりグローバルラウンジの「国際交流ラウンジカウンター」にて行っています。

生活や就労など、外国人の方が抱えるさまざまな問題について、他の相談機関と連携を図りながら、適切な情報をご提供できるようにサポートします。必要がある場合は、所定機関の相談窓口との面談調整や通訳同行（初回のみ）も行います。

困っている外国人の方が周りにいましたら、窓口をご紹介ください。

* 日本語・英語・中国語・韓国語で対応することができます。

* お問い合わせやご相談に係る費用は、**無料**です。

* お車でお越しの際は、アスパム駐車場をご利用ください。最大2時間まで駐車券をお出しします。

<各言語の開設曜日・時間>

対応言語	開設曜日	開設時間
日本語	火曜日～土曜日	10:00～17:00
英語	火曜日・土曜日	10:00～14:00
韓国語	木曜日	10:00～14:00
中国語	金曜日	10:00～14:00

* 定休日：毎週月曜日、アスパム休館日（12/31、2/24～25予定、変更する場合有り）

<窓口所在地／電話・FAX・メールでのお問合せ先>

住所	〒030-0803 青森市安方1丁目1-40 青森県観光物産館アスパム2階 グローバルラウンジ内 国際交流ラウンジカウンター
電話	017-718-5147
FAX	017-718-5148
メール	lounge_supporter@kokusai-koryu.jp

<参考情報>

集計年月	合計	過去5年間の青森県在留外国人数（上位5か国及び全体に占める割合）											
		中国		ベトナム		韓国・朝鮮		フィリピン		アメリカ		その他	
2018.6月	5,368人	1,298人	24.2%	1,219人	22.7%	844人	15.7%	633人	11.8%	383人	7.1%	991人	18.5%
2017.12月	5,121人	1,217人	23.8%	1,093人	21.3%	838人	16.4%	589人	11.5%	390人	7.6%	994人	19.4%
2016.12月	4,568人	1,106人	24.2%	771人	16.9%	844人	18.5%	551人	12.1%	375人	8.2%	921人	20.2%
2015.12月	4,245人	1,236人	29.1%	414人	9.8%	862人	20.3%	535人	12.6%	364人	8.6%	834人	19.6%
2014.12月	4,041人	1,259人	31.2%	247人	6.1%	888人	22.0%	535人	13.2%	353人	8.7%	759人	18.8%

* データ：法務省「在留外国人統計」

●●●● 募集しています ●●●●

■ 賛助会員 supporting member

国際交流・協力に関する事業に、できるだけ多くの皆様のご理解、ご協力をいただきたく、賛助会員の募集を行っております。

Donations from supporting members are spent on our activities to promote international cooperation.

「青森県日本語指導サポーター養成講座」(本年度募集は終了しました)

2019年8月17日(土)から全11回の「青森県日本語指導サポーター養成講座」がスタートします。

この講座は、外国人のための日本語学習や生活相談などを円滑に行えるように支援する「サポーター」を養成し、すでに日本語を教えている方や支援活動を行っている方のレベルアップを図ります。

2018年8月、当協会は青森大学と協定を結び、青森県において外国人が日本語を学習するための指導者の養成などを連携して行うことになりました。青森大学では本年度より「日本語教員養成プログラム」(日本語学校で日本語を教える教師の養成講座)がスタートしましたが、その講義の一部を一般の方にも公開していただき、「青森県日本語指導サポーター養成講座」とさせていただきます。

大学の講義と同じ内容を受けられるのは、県内ではこの講座が初めてです。県内や近隣の先生方が講師を務め、より青森県の実情に合った講義を受けることができる、貴重な内容となっています。

講座内容は、第1回目では「日本語を教えるにはどんな知識や技術が必要か、青森県の実情はどうなっているのか」など、地域に根差した日本語支援を考えるほか、「日本語の話し方トレーニングを行い、自らの言葉の使い方を見直す」ことができます。

この講座は、県内各地域で現在活動されている方々の情報交換の場でもあります。来年度と再来年度も開講しますので、意欲のある方はぜひご参加ください。

【日程表】(公開講座はすべて「アスパム」で土曜日に行います。)

テーマ・時間	実施日	会議室名	主な内容
日本語研究(日本語会話) A 10:00~17:10	8月17日	白鳥	オムニバス形式で「日本語教育入門」「日本語の発音」「言語政策とことば」「こどもの日本語教育実践」「看護・介護の現場の日本語」等の講義を行います。
	8月24日	白鳥	
	8月31日	津軽	
	9月14日	津軽	
日本語研究(日本語会話) B 10:00~17:10	9月21日	白鳥	オムニバス形式で「日本語教育のための日本語分析」「日本語教育法」「教授法」等の講義を行います。
	10月5日	白鳥	
	10月26日	岩木	
日本語指導実習 13:00~17:10	11月9日	しらかみ	日本語指導実習
	11月30日	白鳥	
	12月21日	白鳥	

【修了証の交付、受講料の還付について】

この講座は3つのテーマがあり、「日本語研究A」と「日本語研究B」が4回、「日本語指導実習」が3回で、全11回の講座です。基本的に全講義を受講していただくことが前提ですが、日本語研究A・Bについては4回のうち3回以上の講義(出席率75%以上)、日本語指導実習については全講義に出席した方が「修了証」の交付と受講料の還付を受けることができます。

【青森大学との連携とは?】

この講座の「修了証」の交付を受けた方で、青森大学の「日本語教員養成プログラム」を現在受講中または受講予定の方へ、当協会から「推薦状」が発給されることで、青森大学の奨学制度を利用することができます。(手続き等の詳細についてはお問い合わせください。担当:三上)

【講座終了後の活動について】

この講座終了後に交付される「修了証」は公的な資格ではありませんし、この講座を受講する、しないに関わらず外国人への支援活動をすることはできますが、身近な地域にいる外国人への日本語指導や支援活動を行う場合に役立つ内容になっています。

※開催日程ほか、詳細については当協会ホームページをご覧ください。また、「養成講座チラシ」は国際交流ラウンジにて配布しております。

特別賛助会員の募集

「青森県日本語指導サポーター養成講座」の円滑な運営のために『特別賛助会員』を募集いたします。日本語指導サポーターは今後ますます必要とされます。より良い人材を育てていくためにも、ご理解、ご協力をお願いいたします。



平成31年度(令和元年度)公益財団法人青森県国際交流協会 事業概要

当協会は地域国際化協会として、地域の国際化を一層推進するため、情報の拠点・交流の拠点・活動の拠点としての役割及びコーディネート機能・サポート機能・ノウハウ提供機能等を果たすことを目標に運営を行います。

・今年度の重点項目

- *平成31年度から、語学人材を確保し、国際交流ラウンジにおいて外国人からの各種問合せに対応することとし、合せて相談窓口を持つ関係機関とのネットワークづくりを推進します。
- *多文化共生社会の地域づくりに向けた人財確保のため、平成31年度から3年間、青森大学と連携して日本語指導サポーターの養成強化を図ります（“日本語サポーター100人養成作戦”）。このため、外国人技能実習生の受入企業等に協賛をお願いします。
- *災害時における外国人への支援ネットワークづくりに取り組むこととし、弘前大学及び弘前市と連携して外国人を対象とした防災訓練等を実施します。

(1) 国際交流・国際協力等推進事業

- ①国際交流ラウンジ管理運営事業
- ②民間国際活動助成事業
- ③国際交流情報発信事業
- ④国際協力推進事業
- ⑤青森県ゆかりの海外在住者支援事業
 - ・海外県人会活動促進事業
 - ・海外技術研修員受入事業

(2) 多文化共生推進事業

- ①民間圏域拠点連携推進事業
- ②外国籍児童等学習支援事業
- ③日本語学習サポーター等養成事業
- ④災害・緊急時の滞在外国人支援事業

(3) 地域国際化推進事業

- ①国際人材づくりと人材ネットワーク化事業
 - ・三沢基地内大学への就学推進事業
 - ・県内在住の留学生の交流支援事業
 - ・通訳やホームステイ等のボランティア登録・派遣等
 - ・県内在住の外国人等のネットワークづくり
- ②姉妹都市交流その他民間海外交流推進事業
 - ・海外交流促進コーディネート事業
 - ・民間海外交流推進事業

平成31年度(2019年度)民間国際活動団体助成事業助成金交付団体が決定しました

青森県国際交流協会では、県内の任意団体または営利を主たる目的としない団体が行う国際交流・国際協力活動に対し、民間国際活動団体助成金を交付しています。今年度は3団体へ交付することになりました。

在住外国人の支援に関する事業

弘前日本語クラブ（弘前市）	日本語講座及び国際交流
---------------	-------------

国際友好親善及び国際理解を促進する事業

七戸町国際交流推進事業実行委員会（七戸町）	七戸町国際交流推進事業
藤崎町国際交流協会	第24回国際交流凧フェスタ in ふじ崎 2019

平成31年度(2019年度)第1回三沢基地内大学説明会を開催しました

4月13日（土）三沢市総合社会福祉センターにおいて、三沢基地内大学説明会を開催し、19名の方にご参加いただきました。

説明会では、応募方法及び各大学（メリーランド大学・トロイ大学院）の概要説明、そして、現役就学生から授業の様子や進み方、仕事と勉学の両立の難しさ等についてお話いただきました。その他、基地内での就職情報や国際機関でのインターンのご案内等、多岐にわたる説明会となりました。

就学生のお話を聞いて「大変参考になった」というご意見が多く、就学を考えている方にとってよい機会となりました。また、国際機関でのインターンについて「大変興味深かった」というご意見もあり、三沢基地内大学への就学から、更に国際機関への関心に広がりを見せていました。

当協会では、三沢基地内大学就学者の募集を行っています。募集に合わせまして説明会やTOEFL ITP試験を実施しています。三沢基地内大学に就学を希望される方は、お気軽にお問合せください。



パネルディスカッションの様子

弘前さくらまつりの外国人観光客を想定した避難誘導訓練

2019年4月11日、弘前公園にて「弘前さくらまつりの外国人観光客を想定した避難誘導訓練」を、弘前市・弘前大学社会言語学研究室とともに実施しました。

近年、弘前公園のさくらまつりには外国人観光客が増加しており、こうした状況を踏まえ、まつり期間中に震度6弱の地震が発生したという想定のもと、弘前大学社会言語学研究室で考案された「やさしい日本語」を使って、

- ①外国人観光客へ地震の発生を伝達する。
- ②外国人観光客を避難指定場所である弘前市立観光館まで避難誘導・支援する。

ことを目的に実施されました。



低い姿勢を取る
「外国人観光客役」

訓練には、「やさしい日本語」での誘導方法を学んだ観光ボランティアガイドや市職員等が“避難誘導・外国人支援役”として、日本人材協同組合の来日間もないベトナム人技能実習生28名が“外国人観光客役”として参加しました。

防災無線による地震発生を伝える放送に従い、「地震が発生したこと」と「自分の体を守ること」を、公園内にいる“外国人観光客役”へ「やさしい日本語」を使って大きな声で呼びかけるとともにフリップボードを併用して伝え、その指示に従って低い姿勢を取っていました。

次に地震が止まったことを伝える放送に従い、「揺れが収まったこと」と「避難場所に誘導すること」を伝え、観光館へ避難誘導しました。

観光館では“避難誘導・外国人支援役”が「やさしい日本語」で支援し、ベトナム語版の避難者登録カード（一般財団法人自治体国際化協会ホームページで公開）へ記入してもらうなど、外国人避難者受入れのシミュレーションが行われました。

外国人観光客や在住外国人が、今後ますます増えること見込まれることから、多文化共生として多言語による支援が必要であり、日本人にとって最も習得しやすい言語である「やさしい日本語」への取組みも必要であると感じた訓練となりました。



フリップボードを併用して
避難誘導



避難者登録カードを作成

*一般財団法人自治体国際化協会（CLAIR/クリア）多文化共生／災害時の外国人支援関連情報
青森県弘前市における「弘前さくらまつりの外国人観光客を想定した避難誘導訓練（概要）」

URL : <http://www.clair.or.jp/j/multiculture/shiryou/shinsai.html>

西日本や九州各地で大雨が降り続き、5段階の警戒レベルの上から2番目にあたる「警戒レベル4」の避難勧告が発令され、気象庁からは「自分の命、大切な人の命を守るために、特別警戒の発表を待つことなく、早め早めの避難、安全確保をお願いします。」と呼び掛けられました。

当協会では昨年度、『自治体が発令する避難情報』を「やさしい日本語」へ言い換えして掲載しましたが、平成31年3月29日に、避難勧告等に関するガイドラインが改定され、市町村が発令する避難情報に警戒レベル（5段階）が付与されることになり、避難のタイミングがより明確化されました。

今回は、内閣府防災情報のページで公開されている「警戒レベルに関するチラシ」に掲載されている避難情報や防災気象情報などを参考に、災害時に外国人にもわかる日本語表現で情報を伝えるカテゴリーⅠに分類される「やさしい日本語」で言い換えし、研究室の皆様にご覧いただきました。

どれくらい危ないか	避難の ニュース	ニュースが あったときは 次のことをして ください
警戒レベル5 災害発生情報	災害が 起こっています 急いで 逃げて ください 危ないです	命の 危険が あります 命を 守って ください
警戒レベル4 避難指示 (緊急)	すぐに 逃げて ください 	避難所や 安全な ところへ 逃げて ください 避難所は みんなが 逃げる ところです 逃げるのが できないときは 建物の中 に いて ください
警戒レベル4 避難勧告	逃げて ください	
警戒レベル3 避難準備・ 高齢者等避難開始	元気な人は 逃げる 準備を してください おじいさんや おばあさんは 逃げてください 	次の人は 逃げて ください ～逃げる人～ ・お年寄り(おじいさんや おばあさん) ・体が 自由に 動かない人 ・お腹に 赤ちゃんが いる人 避難所や 安全な ところへ 逃げて ください 避難所は みんなが 逃げる ところです
警戒レベル2 大雨・洪水注意報	逃げる 準備をして ください 	テレビを 見て ください 安全か どうか 外を 見て ください 避難所や 安全な ところを 調べて ください 避難所は みんなが 逃げる ところです 場所が わからないときは 市役所(町役場)に 聞いて ください
警戒レベル1	大雨(たくさんの 雨)が 降るかもしれません	テレビを 見て ください 安全か どうか 外を 見て ください 

天気 ニュース		
大雨特別警戒	大雨警戒・土砂災害警戒	洪水警戒
雨が たくさん 降りました 山から 石や 砂が 落ちてきます 山の 近くへ 行かないで ください 川の水が 増えます 家の 中へ 水が 来ます できるだけ 高い ところへ 行って ください 川の 近くへ 行かないで ください 	雨が たくさん 降りました 山から 石や 砂が 落ちるかも しれません できるだけ 高い ところへ 行って ください 山の 近くへ 行かないで ください 	川の水が 増えています 家の 中へ 水が 来るかも しれません できるだけ 高い ところへ 行って ください 川の 近くへ 行かないで ください 

* 防災情報「全国避難所ガイド」アプリ (ファーストメディア(株)提供) 避難所を調べましょう

全国の自治体で定めた災害時の避難所や避難場所から、現在地から最も近い避難所を検索して、道順をルート案内する災害時ナビゲーションアプリで、防災情報や気象情報なども表示されます。

現在、英語・中国語(繁体・簡体)・韓国語にも対応していますが、2020年の東京オリンピック・パラリンピック大会開催までに10言語に対応する予定のようです。

- ・ [App Store] <http://itunes.apple.com/jp/app/id446063625?mt=8>
- ・ [Google Play] <https://play.google.com/store/apps/details?id=jp.hinanjyo.guide>

* 青森県防災ホームページ (青森県危機管理局防災危機管理課が運営しています)

URL : <http://www.bousai.pref.aomori.jp>

(注意報・警戒、避難情報等の青森県内の状況のほか災害状況や防災の心得などを掲載しています。)



このページは、弘前大学人文社会科学部社会言語学研究室にご協力いただきました。

* 弘前大学人文社会科学部社会言語学研究室ホームページ

URL : <http://human.cc.hirosaki-u.ac.jp/kokugo/index.html>

JICA

トピック

topic

JICA青森デスク 国際協力推進員着任のお知らせ

4月から国際協力推進員としてJICA青森デスクで働くことになりました、遠藤久美子（えんどうくみこ）と申します。出身は岩手県ですが、幼少期に少しの間、青森県に住んでいたこともあり、青森県は第2のふるさとです！

大学卒業後、岩手県で中学校講師（理科）として勤務したのち、青年海外協力隊として2014年10月から2年間、東アフリカ・ウガンダ共和国の東部の村にある女子中高一貫校において、理科教育という職種で、教員とともに実験の指導や校内の研究授業・評価などに取り組みました。



ウガンダの生徒たちと共に（左から3人目）



理科実験の様子

活動から帰国後は、（公財）岩手県国際交流協会で、国際交流イベントや講演会の企画・運営と広報を担当しました。

国際協力というと、開発途上国に関心を持つ人たちが、困っている彼ら／彼女らのために行動をすることをすぐに思いつくかもしれません。

一方で、青森に生きる私たち一人ひとりの生活を見直すことが、開発途上国の課題解決、さらには地球みんなの幸せにつながることもあります。

ぜひ一緒に国際協力、途上国のことに触れ、気づき、考え、行動してみませんか。是非JICA青森デスクまでお気軽にお問合せください！



ネットボール地区大会でのひととき、残念ながら敗退

JICA 青森デスクからのお知らせ

●JICA国際協力中学生・高校生エッセイコンテスト2019 ～言葉にすれば、世界を動かす力になる。



今回のテーマを通じて、私たちのよりよい未来をつくるにはどのような課題があり、私たちにはどんなことが求められるのか考え、そして、行動するきっかけをつかんでいただきたいと思います。



JICA国際協力中学生・高校生 エッセイコンテスト2019

テーマ **よりよい世界の未来を目指して
～私たちから始まる一歩～**

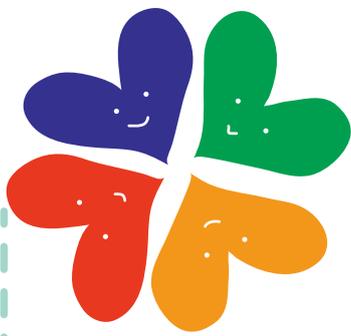
募集期間 **6/7(金) ▶ 9/11(水)**

ホームページURL：
<https://www.jica.go.jp/hiroba/program/apply/essay/>

*パンフレットは国際交流ラウンジ（青森県観光物産館アスパム2階）で差し上げています。

JICA青森デスク

JICAの事業についてご質問などございましたら、JICA青森デスクまでご連絡ください。
TEL:080-3140-2129 E-mail:jicadpd-desk-aomoriken@jica.go.jp



青森から世界へ ～JICA海外協力隊活動報告～

青年海外協力隊 2018年度1次隊 ボツワナ共和国

村上 瑠希也 (黒石市出身：柔道)

ボツワナに派遣されてから約1年が経とうとしています。ボツワナはダイヤモンドの生産量が世界トップ、象の生息数も世界トップで、他の動物もたくさんいます。

私の配属先がある首都のハポローネは、道路がきれいに整備されており、大きなショッピングモールや高いビルなどもたくさんあり、私がボツワナに来る前に持っていたアフリカのイメージとは全く違って、大変発展していると感じています。使われている言語は主にツワナ語と英語で、私の活動は主に英語で行っています。



整列している生徒たち



寝技を指導中

私の活動内容は大きく分けて2つあり、1つ目は柔道の普及活動です。首都近郊にある複数の小学校で週に2～3回柔道教室を開いています。ここでは柔道人口の拡大を一番の目標として、柔道をしてみたい人は誰でも参加可能にし、本格的に柔道を習いたい人には、日本から寄付していただいた柔道着を無償で配布しながら練習を行っています。

練習では柔道なので立礼、座礼、といった日本の特有の礼の文化を教えたり、子供たちが楽しみながら柔道を好きになり続けてもらえるように、厳しい練習ではなく、ゲームを取り入れるなど工夫しながら指導を行っています。2つ目はナショナルチームの強化です。現在ボツワナの柔道ナショナルチームのコーチとして、来年の東京オリンピックの出場を目標に選手と共に頑張っています。練習は月曜日から土曜日まで、そのうち月・水・金曜日は午前と午後の2部練習です。4月には南アフリカ共和国ケープタウンで開催されたアフリカ大陸選手権にコーチとして帯同してきました。結果は残念ながらメダル獲得とはなりませんでしたが、今後の結果次第で東京オリンピックの出場権獲得のチャンスはまだあるので、今まで以上に稽古を積み、今年日本で開催される世界選手権や来年のアフリカ大陸選手権で結果を出して、絶対にボツワナの選手たちと共に東京オリンピックに行きたいと思っています。



私の活動内容は大きく分けて2つあり、1つ目は柔道の普及活動です。首都近郊にある複数の小

学校で週に2～3回柔道教室を開いています。ここでは柔道人口の拡大を一番の目標として、柔道をしてみたい人は誰でも参加可能にし、本格的に柔道を習いたい人には、日本から寄付していただいた柔道着を無償で配布しながら練習を行っています。

練習では柔道なので立礼、座礼、といった日本の特有の礼の文化を教えたり、子供たちが楽しみながら柔道を好きになり続けてもらえるように、厳しい練習ではなく、ゲームを取り入れるなど工夫しながら指導を行っています。

2つ目はナショナルチームの強化です。現在ボツワナの

柔道ナショナルチームのコー



アフリカ大陸選手権にて試合中選手にアドバイスを送る



選手と引き上げる様子

「青森おはなし国際ひろば」を開催しています!!

青森県民と青森県在住外国人が共に集い、会話を通じて相互理解を深め、青森県における異文化共生のさらなる発展に貢献するための活動の一環として昨年度より開催しています。開催のたびに参加者がどんどん増え、交流の輪が広がっています。

「ゴールデンウィークにしたこと」、「これから挑戦したいこと」など、毎回テーマを決めて、テーブルを囲みながら会話をしたり、異文化共生・国際交流に関するイベントの企画を考えたりしています。

国際交流に興味のある方なら、どなたでも参加できます。国籍を超えて、いっしょにお話しませんか？



たくさんの方々のご参加をお待ちしております。

- 日 時：今年度は4/13(土)、6/1(土)、7/20(土)に開催しており、今後も2ヶ月に一度のペースで開催する予定です。決まり次第、当協会ホームページにてお知らせします。
- 場 所：青森県観光物産館アスパム2F ねぶた展示コーナー前
- 参加料：100円(飲み物・おやつ代として)
- 申込み：事前申込みは不要です。
- これまでの参加者の国籍
ベトナム・タイ・マレーシア・韓国・台湾
モンゴル・カナダ・フィリピン・フィジー・日本

青森県内の国際交流事業・イベント紹介

● NPO法人みちのく国際日本語教育センター

*外国人のための日本語講座(秋期) /

Japanese Classes in Hachinohe

日本語を話したい人、友達を作りたい人、みんなで楽しく学びましょう!

- コース：火曜コース
(初級から上級まで、レベル別に5クラス)
水曜コース
(初級から上級まで、レベル別に3クラス)

- 期 間：8/27(火)～3/18(水)
※12/19～2/17は冬休みにより休講となります。

- 時 間：18:30～20:30
- 場 所：八戸市福祉公民館(八戸市類家4丁目)
- 対 象：市内及び近郊在住の外国人
- 受講料：各コース 7,000円(週1回、全20回)
- お申込み・お問合せ先：
NPO法人みちのく国際日本語教育センター
TEL: 080-6051-3109(馬場/Baba)
TEL: 080-6026-3109(明日山/Akebiyama)
- E-mail: michinokunihongo@gmail.com

● 弘前日本語ティールーム

*日本語教室

開催場所の弘前市民参画センターが、7月より弘前駅前公共施設ヒロコスクエア3階へ移転しました。

- 日 時：毎週水曜日 10:00～12:00
- 場 所：弘前駅前公共施設ヒロコスクエア3階
- 受講料：無料
- お問合せ先：E-mail
hirosakinihongotearoom@hotmail.co.jp

● 弘前日本語クラブ

7/19から9/27まで活動はお休み中で、10月から後期の講座が始まります。

6月までの開催場所である弘前市民参画センターの移転により、7月からは弘前駅前公共施設ヒロコスクエア3階で開講しています。

(※予約状況等により変更する場合があります。)

- 詳細は決まり次第、当協会ホームページ及び情報誌にてご案内します。
- お問合せ先/E-mail: hnc1900@yahoo.co.jp
- ホームページ/http://hnc.g1.xrea.com/

公益財団法人青森県国際交流協会 International Association of Aomori Prefecture

国際交流ラウンジ/International Lounge

〒030-0803 青森市安方1丁目1-40
青森県観光物産館アスパム2F
ASPAM BLDG. 2F, 1-1-40, Yasukata, Aomori-shi.
Post-Code: 030-0803
TEL: 017-718-5147 FAX: 017-735-5148
E-mail: lounge_supporter@kokusai-koryu.jp

事務局/Office

〒030-0803 青森市安方1丁目1-40
青森県観光物産館アスパム7F
ASPAM BLDG. 7F, 1-1-40, Yasukata, Aomori-shi.
Post-Code: 030-0803
TEL: 017-735-2221 FAX: 017-735-2252
E-mail: info@kokusai-koryu.jp



*国際交流ラウンジカウンター/外国人からの問合せ窓口

受付時間/10:00～18:00
休 日/毎週月曜日
アスパム休館日/12月31日、2月24～25日(予定)

Website: <http://www.kokusai-koryu.jp>
Facebook: <https://www.facebook.com/aomori.kokusai.koryu>
Twitter: <https://twitter.com/aomorikokusai>